

○7月9日(木)調査結果の報告

天候:晴れ 気温:26.9℃

	水温	水質 (PH/COD)	透視度	網キラーで捕れた生き物
地点1	25.4℃	7.5/8	22.0cm	アメリカザリガニ1匹・トウヨシノボリ1匹
地点2	23.4℃	7.5/8	25.0cm	アメリカザリガニ1匹・クロダハゼ3匹
地点3	24.3℃	7.5/8	47.0cm	アメリカザリガニ2匹・スジエビ1匹・クロダハゼ1匹
地点4				スジエビ1匹・トウヨシノボリ1匹・クロダハゼ1匹
地点5	24.6℃	7.5/8	22.0cm	アメリカザリガニ2匹・クロダハゼ3匹

※地点4は、地形上沼水の採取が不可能なため、生き物のみの調査。

※水質調査は、「誰でもどこでもできる水質測定パックテスト」(共立理化学研究所監修)を使用。
CODは低濃度対応のもの。

※透視度計は、高さ1mでケニス株式会社監修のものを使用。

-考察-

- ・気温が約12℃上昇したことに伴い、水温は約6～8℃上昇し、合計18匹もの生き物が確認出来た。
- ・PHは生き物が暮らせる中性数値を保っていた。CODは高い数値を示しており、引き続き魚類のエサとなる植物プランクトンが多くいる状態が保たれていると思われる。透視度については、地点3のみ他地点と比較して高い数値となった。また、透視度計内で沼水中にプランクトン類が多く浮遊している様子が確認出来た。沼全体としては、雨量が増えてきたことから、水量が増加し地点1堰より外水路へ沼水が大きくオーバーフローする状態が続いている。